

生誕 120 周年記念

水島あやめ

～日本初の女性映画脚本家～

水島あやめ(1903-1990, 南魚沼市大月地区出身)は、日本女子大(現 日本女子大学)在学中に映画の脚本を学び始め、1924年11月に日本映画初の女性脚本家としてデビューし、松竹蒲田脚本部に就職。生涯で約30作もの映画制作に携わりました。

1935年に脚本家を辞した後は、少女時代からの夢であった児童文学作家に転身。生涯を通して数多くの物語を手掛けました。

生誕120年となることを記念し、水島脚本のサイレント映画作品を活弁・生演奏により上映するとともに、記念講演会を行います。



第1部 活弁・生演奏によるサイレント映画上映会



活動写真弁士
佐々木 亜希子 氏

NHK山形放送局でキャスターを務めた後、2001年より活動弁士として活躍。著書『カツペンっておもしろい!現代に生きるエンターテインメント「活弁」』(論創社)



ピアニスト
永田 雅代 氏

多種多様なジャンルのCD制作、プロデュース多数。多くの無声映画作品の音楽を手掛け、公演活動も行う。

【上映作品】

「親」(ダイジェスト版) 封切:1929(昭和4)年
監督:清水 宏
うるわ
「美しき愛」 封切:1931(昭和6)年
監督:西尾 佳雄

いずれも宣伝映画として制作された短編で、当時松竹を代表する人気があった水島が脚本、高尾光子が主演の作品。親子の情愛をテーマに、日本中の涙線を絞った感動作を2本立てで上映。

第2部 記念講演会

講演1 日本映画史における女性脚本家 水島あやめ
講師:映画評論家 村川 英 氏

1942年 南魚沼市(旧塩沢町)生まれ。
1967年 早稲田大学大学院修了(映画学専攻)、元・城西国際大学教授。著書「国際映画祭への招待」(丸善ブックス)、翻訳「エリア・カザン自伝」(朝日新聞社・毎日出版文化賞受賞)、「成瀬巳喜男演出術 役者が語る演技の現場」(ワイズ出版)



講演2 キネマの天地・蒲田の今とこれから
講師:プロデューサー 岡 茂光 氏

1944年、東京都生まれ。小学3年生で映画に魅せられ、大手企業での欧州勤務15年間に名作ロケ地を多数訪問する。退職後、大田観光協会に勤務。「蒲田映画祭」の開催に8年間携わる。現在は企画プロデュース、講演活動を行う。著書に『蒲田映画祭10年史 映画のチカラ』(蒲田映画祭実行委員会)企画、編集。



7月16日(日) 14:00 開演
(13:30 開場/17:00 終了予定)

会場:南魚沼市民会館 大ホール

(新潟県南魚沼市六日町865番地)

JR上越線・ほくほく線「六日町駅」より徒歩約10分

関越自動車道「六日町IC」より車で約5分

※ 入場無料・事前申込不要

お問い合わせ 南魚沼市教育委員会 社会教育課 文化振興係 (☎ 025-773-3756)

主催:南魚沼市、南魚沼市教育委員会、水島あやめをNHK朝ドラに推進する会～南魚沼市ちとせ会～

共催:(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社 協力:にいがた文化の記憶館

連携企画

パネル展「水島あやめの生涯」

水島あやめ研究家で『日本初の女流脚本家・少女小説作家 水島あやめの生涯』(銀の鈴社)の著者 因幡純雄氏協力によりパネル展を開催します。

展示期間:7月1日(土)～17日(月)
場所:南魚沼市図書館 展示コーナー